

そんなに思いつめないで

——非行・校内暴力・男女交際・性など
家庭教育について考える——

学校生活

相談

小6男子の母親です。病気がちで欠席の多かった長男がこの春小学校を卒業します。

病弱な長男、中学生生活が心配

先日、中学校の「一日入学」があつて母子で参加し、中学校の先生方のお話を伺つたり、すでに中学校に在学している子どもをお持ちの母さん方のお話を聞いていたうちに、私はだんだん心配になつてしまいました。

それは、中学校生活が小学校にくらべてとても規則がきびしく、全く自由のない生活のようで、生徒がかわいそうに思ったことです。素行面でも問題の子がいるようで、あるお母さんは、何人かが悪いことをして、補導されたこと、下級生をいじめる生徒もいるなどということを声高に話していました。

息子は不安そうな表情で、黙つて聞いていました。5年生のときに友だちにいじめられて、2、3日学校を欠席したことがある子ですので、きつと心配していると思います。今後どのように励ましていいかわからぬように思っています。

「1日入学」が逆効果

答え

「一日入学」は入学する生徒と親に中学校を正しく理解してもらうための学校側の配慮だともいえます。思春期の中学生の行動は、小学生とは比較にならない力強さと広がりがあります。大人への反発心も旺盛ですが、同時にまたきびしく律せられる中になんかすがしきを感じて自己成長を自らをはかる時代でもあります。校則のきびしさは、その学校を育てるために必然的に生まれたものです。中学校生活の現実を知れば、それはお母さんにも

納得できると思います。ご子息がある母親の話を聞いて中学校に不安を感じたとすれば、「一日入学」の意味は全く逆効果になりました。

早急に本人の心の不安を取り除く必要があります。よくない生徒もいるでしょうが、まじめな生徒がよりたくさんいることを話して聞かせる必要があります。それには学校の先生がよいでしょう。まじめな生徒が学業にスポーツに打ち込んでいる姿を具体的に話してください。よくない友達に誘われたときの対応についても教えてくださると思います。

神経質な少年は、普通の人以上に先々のことを考えて心をふるわせるものです。現場を知らない人の単なる気休めや説得は役立ちません。1日も早く担任の先生に相談してください。

静岡県教育委員会教育相談センター 監修 第一法規出版株式会社発行

●そんなに思いつめないで
「ハロー電話」ともしび」相談事例より

このシリーズは、本号にて終了します。

相談室をご利用ください

3月の各相談室の開設日は次のとおりです。
お気軽にご利用ください。



相談室	相談日	場所	時間	備考
健康相談	3月10日(火) 3月24日(火)	大 総会館 文化会館	午後1時30分 ～午後3時	40歳以上の方は健康手帳をご持参ください
教育相談	3月3、10、 17、24、31日	中央公民館	午後1時30分 ～午後4時30分	当日は、電話でも相談に応じまず(内線69)
心配ごと相談	3月3、10、 17、24、31日	中央公民館	午後1時30分 ～午後4時	
人権相談	3月3・17日	中央公民館	午後1時30分 ～午後4時	